

アスパラガスの疫病には株元2回散布！

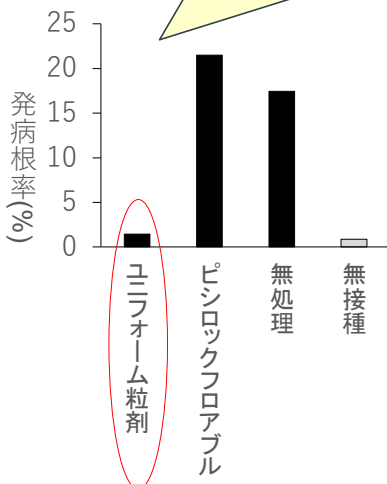
概要 Abstract

アスパラガス疫病に有効な防除薬剤を明らかにしました。

成果 Results

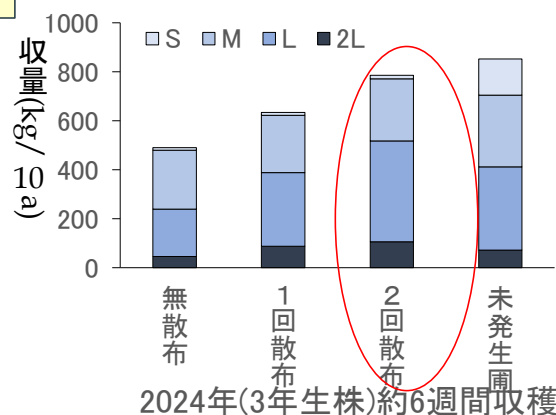
近年道内で発生しているアスパラガス疫病には、ユニフォーム粒剤12kg/10a株元散布の効果が高い。

収穫茎に発病



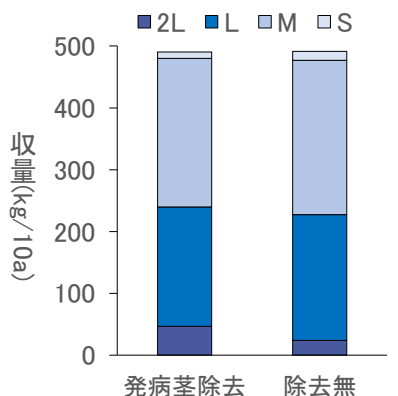
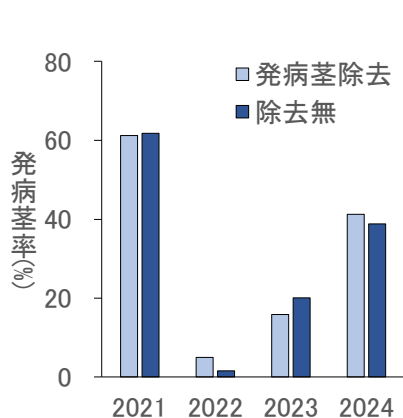
発病ほ場における欠株率
(2021年定植、2024年調査)

	欠株率(%)
無散布	37.5
春期1回散布	18.8
春秋期2回散布	0



2024年(3年生株)約6週間収穫

本病原菌は20℃前後が発病に適することから、萌芽期前後と9月下旬～10月上旬の2回散布を行うことにより、欠株もなく疫病未発生圃場とほぼ同等の収量が得られた。



2024(3年生株)約6週間収穫

罹病茎除去による発病抑制効果は判然とせず、除去は必要は無いと思われた。

立茎中に発病



普及 Dissemination

1. Phytophthora asparagi によるアスパラガス疫病の防除対策として活用する。
2. 粒剤2回散布による残効期間については未検討である。
3. 本研究は、生物系特定産業技術研究支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」により実施したものである。

連絡先 Contact

上川農業試験場
研究部生産技術グループ
0166-85-2200
kamikawa-agri@hro.or.jp